

スコアシート		実施設計段階									
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体		
Q 建築物の環境品質									3.0		
Q1 室内環境						0.38		-	2.9		
1	音環境				2.6	0.15	-	-	2.6		
	1.1 室内騒音レベル		—	3.0	0.40	-	-				
	1.2 遮音			3.0	0.40	-	-				
	1	開口部遮音性能		3.0	0.93	-	-				
	2	界壁遮音性能		3.0	0.07	-	-				
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-				
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-				
	1.3 吸音			1.0	0.20	-	-				
	2 温熱環境					2.6	0.35		-	-	2.6
2	2.1 室温制御		—	3.0	0.50	-	-				
	1	室温		3.0	0.48	-	-				
	2	外皮性能		3.0	0.18	-	-				
	3	ゾーン別制御性		3.0	0.34		-				
	2.2 湿度制御			1.0	0.20	-	-				
	2.3 空調方式			3.0	0.30	-	-				
	3 光・視環境					2.8	0.25		-	-	2.8
3	3.1 昼光利用		—	2.7	0.47	-	-				
	1	昼光率		1.0	0.10	-	-				
	2	方位別開口			-		-				
	3	昼光利用設備		3.0	0.90	-	-				
	3.2 グレア対策			2.0	0.05	-	-				
	1	昼光制御		2.0	1.00	-	-				
	3.3 照度			3.0	0.03	-	-				
	3.4 照明制御			3.0	0.46	-	-				
	4 空気質環境					3.7	0.25		-	-	3.7
	4	4.1 発生源対策		F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用	4.0	0.50	-		-		
1		化学汚染物質	4.0		1.00	-	-				
4.2 換気		3.0	0.30		-	-					
1		換気量	3.0		0.47	-	-				
2		自然換気性能	3.0		0.05	-	-				
3		取り入れ外気への配慮	3.0		0.47	-	-				
4.3 運用管理		4.0	0.20			-					
1		CO ₂ の監視	3.0		0.49		-				
2		喫煙の制御	建物内は禁煙としている		5.0	0.51		-			
Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	3.2		
1	機能性				3.2	0.40	-	-	3.2		
	1.1 機能性・使いやすさ		—	3.0	0.40	-	-				
	1	広さ・収納性		-	-	-	-				
	2	高度情報通信設備対応		3.0	0.05		-				
	3	バリアフリー計画		3.0	0.95		-				
	1.2 心理性・快適性			2.6	0.30	-	-				
	1	広さ感・景観		3.0	0.33	-	-				
	2	リフレッシュスペース		2.0	0.33		-				
	3	内装計画		3.0	0.34	-	-				
	1.3 維持管理			4.0	0.30		-				
	1	維持管理に配慮した設計		建物 の 維持管理に配慮した設計としている	5.0	0.50			-		
	2	維持管理用機能の確保		—	3.0	0.50			-		
	2 耐用性・信頼性					3.1	0.30			-	3.1
	2.1 耐震・免震・制震・制振			—	3.0	0.50			-		
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-		-		
2	免震・制震・制振性能	3.0			0.20	-	-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-	-					
1	躯体材料の耐用年数	3.0	0.20		-	-					
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.20		-	-					
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.10		-	-					
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10		-	-					
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水：VLP(B)、排水：VP(B)、消火：SGP(C)、Eは不使用	5.0		0.20	-	-				
6	主要設備機器の更新必要間隔	—	2.0		0.20	-	-				
2.4 信頼性		3.2	0.20			-					
1	空調・換気設備	3.0	0.20			-					
2	給排水・衛生設備	3.0	0.20			-					
3	電気設備	3.0	0.20			-					
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0		0.20			-			
5	通信・情報設備	—	3.0	0.20		-					

3	対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
	3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	階高3.90m以上	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.085	5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			—	0.32	-	-	3.0	
1	生物環境の保全と創出		—	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		—	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	2.9	
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	2.3	
1	建物外皮の熱負荷抑制		—	1.0	0.20	-	-	1.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		—	2.5	0.50	-	-	2.5
	集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	3.3	
1	水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		—	3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60	-	-	3.5
	2.1 材料使用量の削減		—	2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		基礎、基礎梁に高炉セメントを採用	5.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		駐車場:再生プラスチック	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS下地採用により躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	—	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	3.3	
1	地球温暖化への配慮		LCCO2排出率78%	3.8	0.33	-	-	3.8
2	地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	1.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	－	－	－	○	○	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0		－	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0			－	－	－	○	－	○	－	○	○	－	○	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		－	－	2.0	－	1.0	1.0	1.0	－	1.0	1.0	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0		－	－	1.0	－	1.0	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	6.0		－	1.0	1.0	2.0	－	－	－	1.0	1.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	1.0	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	12.0		1.0	－	3.0	3.0	3.0	－	－	1.0	1.0	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	－	1.0	－	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
昼光率	0.0%				
自然換気有効開口面積率	0.0%				

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
--------	--------	----	--------	------	---------	-----

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	0.0 VA/㎡
---------	----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	0 m
-----	-----

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	4.5 m
----	-------

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	8.5%
-------	------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	－ N/m2
-----	--------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	38%	建物緑化指数	0%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	58%	水平投影面積率	12%	地表面対策面積率	28%	舗装面積率	0%
-----	-----	---------	-----	----------	-----	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	1.09	断熱等性能等級	対象外 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
--------------	---------	-----------	------	-----------	------

通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%
-----------	------	-----------	------

太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
-----	------	------	------	-----	------

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

BEI/BEI _m	再エネ有	0.73	無	0.73	オフサイト再エネ有	－	－
----------------------	------	------	---	------	-----------	---	---

集合住宅の評価

一次エネ削減率	再エネ有	無				－	
---------	------	---	--	--	--	---	--

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	－	エコマーク商品	再生プラスチック自治体指定の特定品目等	－
--------	---	---------	---------------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	29%	隣棟間隔指標R _w	1.00
-------	-----	----------------------	------

地表面対策面積率	46.0%	屋根面对策面積率	0.0%	外壁面对策面積率	0.0%
----------	-------	----------	------	----------	------

見付面積S _b	898㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	145.5 m	基準高さH _b	21.27 m
--------------------	------	------------------------------	---------	--------------------	---------

緑地	1,494㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡
----	--------	----	---	--------	---	--------	---	----------	---